

令和5年度 第4回 府中市地域公共交通活性化協議会 議事録

1 開催日時

令和5年12月27日（水） 午後2時00分～

2 開催場所

府中市役所本庁舎4階 第1委員会室

3 出席者

（委員）

平野 勝与 大久保 富秋 桐島 一義 佐野 弘之（代理） 山口 晃弘
宇田 雅英 高山 俊宏 宮口 泰彦 井上 邦康 横島 幸宏 中井 孝司
永島 誠（代理） 河毛 茂利 木曾 孝彦 渡邊 一成

（事務局）

建設部都市デザイン課 課長 日野 雄蔵
建設部都市デザイン課 係長 信岡 知典
府中市都市デザイン課 主任主事 岡田 啓伸

4 欠席委員

山崎 武志 藤井 剛 栢 英彦

5 議事

- 第1号議案 自家用有償旅客運送の更新登録について
- 第2号議案 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金・事業評価（案）
- 第3号議案 地域公共交通調査事業（計画策定事業）・事業評価（案）
- 第4号議案 府中市地域公共交通計画策定について

6 配布資料

- 資料1 府中市地域公共交通活性化協議会 委員名簿／配席図
- 資料2 府中市地域公共交通活性化協議会 議案集
- 資料3 府中市地域公共交通計画（素案）
- 参考資料① 府中市地域公共交通活性化協議会 資料
- 参考資料② 地域内フィーダー系統確保維持計画
- 参考資料③ 報告事項

7 傍聴者

8人

8 議事の内容

【会長】

皆さん、おはようございます。

福山市立大学渡邊でございます。よろしくお願いいたします。

年末のお忙しい中、ご参集いただきましてありがとうございます。

さて、今日の協議会でございますがお手元の開催次第にありますように、議事は4つございます。

第1号議案は、協和地区の自家用有償登録更新に関することです。第2号、第3号議案については、国から補助金を受ける関係で、この協議会で進めている事業の評価をすることになっていて、それについてご承認いただくものです。第2号では「地域内フィーダー補助」とありますが、つまり中心市街地を運行する府中ぐるっとバスのことです。第3号は、現在策定中の府中市地域公共交通計画に関する補助をいただいております、これについて事務局の方から実施状況を報告し、ご承認いただくというものです。第4号議案は府中市地域公共交通計画の素案が出来上がってきたので、それについて説明をいただいて議論いただくものです。今回はあくまで素案ですので、これで決定するというものではありません。事務局から方向性を示す案を提示するものです。皆さんの忌憚のない意見をいただければと思っています。よろしくお願いいたします。

【事務局】

○第1号議案 自家用有償旅客運送の更新登録について「資料2 府中市地域公共交通活性化協議会 議案集（p. 1～6）」「参考資料① 府中市地域公共交通活性化協議会 資料（スライド2～5）」を基に説明。

【会長】

ありがとうございました。

自家用有償旅客運送の申請については協和元気センターから行うことになりますが、議案書の6ページのとおり協議会で協議が調ったことを証する書類を添付すると定められておりますので、ご承認をいただくというのが第1号議案の趣旨でございます。

まずは第1号議案の説明につきまして、ご質問やご意見をお受けしたいと思いますがいかがでしょうか。

【委員】

来年度から巡回診療というものが始まる予定で、協和元気タクシーを利用してそこに行きたいという人が2名利用を始めました。利用の傾向が今までと少し変わってきているように感じます。今後そういう人が増えてくるかもしれません。

【委員】

知り合いから、「なぜ運賃が300円なのか」と聞かれました。住民としては府中ぐるっとバスと比較して少し高いという意識を持っているようです。利用状況等も含めてどうなのかなと思っているところです。どういう経緯で300円と決まったのでしょうか。

【委員】

協和元気センターの中で、「このくらいが妥当なのではないか」ということで決めたと思います。住民の方に諮ることまではしていません。「高い」と言われればそうなのかもしれませんが、運行範囲が限られているので、郵便局、理髪店、バス停など、利用件数が多くありません。11月はチケットを15枚くらい販売しました。適切な金額がいくらなのか、判断が難しい状況です。地域の人にアンケート調査を実施すればわかるかもしれませんが、個別の要望はなかなか協和元気センターまで届かないところがあります。

【会長】

特に経緯は明確ではなく、現状は運行いただいている協和元気センターの方でご判断いただいているということになっています。現在地域公共交通計画も策定中で、その計画でアンケートを取っていると思いますが、その中で自家用有償旅客運送について聞いているということはあるですか。

【事務局】

市民アンケート調査は協和地区にも配っていますし、協和元気センターへのヒアリング等もさせていただきました。委員からもあったように、協和地区内だけの目的地ではなかなか利用しにくいということもあり、エリア拡大、運賃、登録者をどうしていくかということについても、他の交通事業者のことを考慮しながら計画の中で検討していきたいと考えています。

【会長】

良いタイミングで今回計画策定をいたしますので、それに絡めていろいろとどうあるべきかをこの場でご議論いただければと思います。

他に何かございますか。

ないようですので、それでは第1号議案、自家用有償旅客運送の更新登録について採決を行いたいと思います。

ご承認いただける方は挙手をお願いいたします。

【委員】

(挙手多数)

【会長】

ありがとうございます。

挙手多数により可決されました。

【事務局】

○第2号議案 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金・事業評価について「資料2 府中市地域公共交通活性化協議会 議案集 (p. 7～17)」「参考資料①府中市地域公共交通活性化協議会 資料 (スライド6～13)」を基に説明。

【会長】

ありがとうございました。

ただいまの説明につきましてご質問やご意見等があればお受けしたいと思いますのですが、いかがでしょうか。

コロナ禍で減少した利用者数も戻ってきているということもありますが、私の方から2つお尋ねします。まず1点目が、スライドの13ページでも記載されているのでおそらく後ほど報告があると思うのですが、府中ぐるっとバスの右回りにEVバスを導入することについて、「利用促進」と書いてあります。EVバスはもちろん環境にやさしいバスだということはわかるのですが、EVバスになるとどうという理由で利用が促進されるのかわかりません。例えばステップが低いから乗りやすくなるなど、利用促進が期待できそうな利用者にとってのメリットがあれば教えてください。

【事務局】

ありがとうございます。

EVバスに関しては報告事項の方でも説明させていただきますが、もちろん環境面や燃費の観点があります。利用促進という観点では、「振動が少ない」、「低床」というところに乗りやすさがあります。あとは「EVバスに乗ってみたい」というニーズもあるのではないかと考えております。

後ほど示しますがラッピングカラーも、今はアイボリーですがもっと皆様に親しんでいただけるような目立つ色で、実際に「乗ってみたいな」と思わせるようなものを考えていければと思っております。

またEVバスだけではなく、それをきっかけに例えば乗車券であるとか、そういったところも含めて、次年度以降も検討して参りたいと思っております。

【会長】

ありがとうございます。

確かに静かなので、乗り心地がいいというのはおっしゃる通りかと思います。

それからもう一つ、スライドの13枚目と議案集の9ページの「③前回の事業評価結果の反映状況」にもある「循環バスと再編路線バスとの相互乗継割引」について、個人的にとってもいい取組だと思っています。土生栗柄線と府中ぐるっとバスの乗り換え時に100円割引を適用しているということで、こちらの利用状況についてお示しいただけるようなデータ等があれば、ご説明ください。

【事務局】

土生栗柄線の路線再編と合わせて府中ぐるっとバスとの相互乗継割引を実施しております。

令和4年度に関しましては、土生栗柄線から府中ぐるっとバスに乗った人が250名、令和5年度はまだ途中の状況ですが206名利用していました。継続的に利用する人がいるようです。

また府中ぐるっとバスから土生栗柄線へも使えるのですが、土生栗柄線から府中ぐるっとバスへの乗継に比べて利用は少なくなっています。令和4年度は137名、令和5年度は途中ですが125名利用があります。途中段階ですが令和4年度より利用率が増加傾向にあるということで、昨年度も「他の路線も含めて」という方向性を書かせていただきましたが、計画策定の中でも検討できればと思っています。

【会長】

どうもありがとうございました。

そういう意味では、当初の想定がどうだったかわからないところがありますが、少なくとも乗継割引をすることによって、一定の市民の利用があると理解しました。

「参考資料①府中市地域公共交通活性化協議会 資料」のスライドの13に「ぐるっとバスへの乗換えを他の路線でも検討する」とあります。土生栗柄線以外の路線からも乗継割引ができるようにすることによって、ぐるっとバスの利用者を増やそうというのはとても良い取組ですのでぜひやっていただきたいと思います。その記述が議案集の9ページの「⑥今後の事業の改善点」では記載がないようです。

【事務局】

特に検討しないということで落としたわけではありません。ＥＶバス等新たな取組を掲載した関係もあり記述がないような状況ですが、引き続き乗継割引等についてももちろん検討して参りたいと思います。

【委員】

参考資料③のＥＶバスの購入価格と、合わせて環境面の「年間1台あたり年間26tの削減効果」というのは何の単位なのか、「ディーゼルバス比で最大4割の削減」というのは何を対象に4割なのかという点がよくわかりません。CO₂であれば削減率は100%だと想像しますが、燃料費のことでしょうか。せっかく数字があってもよくわからないと思い質問させていただきました。

【事務局】

こちらはCO₂の削減率です。こちらの数字については、府中ぐるっとバスに関する試算はできないため、国の方でＥＶバスのガイドラインが作られていますのでそちらの記述から引用させていただきました。運行によってCO₂は排出されないのですが、発電によるCO₂排出も踏まえての削減率となっております。

【委員】

価格についてですが、今回は国、県の補助金を活用しての導入となりました。実際一般的な小型バスよりは割高で、現在の価格で言うと消費税別で2,650万円です。これに加えてＥＶの充電機や電気設備等が必要になりますので、そういったものを含めて4,000万円近くの初期投資がかかります。ただし先ほど申しましたように、今年はサミットが開かれた関係もございまして国、県よりかなり手厚い支援をいただいております。格安で導入できました。

【会長】

第2号議案、地域内フィーダー系統確保維持費 国庫補助金・事業評価（案）について採択行いたいと思います。

ご承認いただける方は挙手をお願いいたします。

【委員】

(挙手多数)

【会長】

ありがとうございます。

挙手多数により可決されました。

【事務局】

○第3号議案 地域公共交通調査事業（計画策定事業）・事業評価（案）について「参考資料①府中市地域公共交通活性化協議会 資料（14～17、議案集 p. 22～と同様）」を基に説明

【会長】

ありがとうございました。

それではただいまの事務局の説明に対してご意見、ご質問あればお受けしたいと思います。いかがでしょうか。

先ほど事務局からも説明がありましたように、アンケートの集計結果等はまた次の議題で、詳しく説明をいただきますが、アンケートをしっかりと実施したということを国に対して報告するというところでございます

それでは、第3号議案 地域公共交通調査事業（計画策定事業）・事業評価（案）について採決を行いたいと思います。

ご承認いただける方は挙手をお願いいたします。

【委員】

(挙手多数)

【会長】

ありがとうございます。

挙手多数により可決されました。

【バイタルリード】

○第4号議案 府中市地域公共交通計画策定について「参考資料①府中市地域公共交通活性化協議会 資料（スライド 19～）」「資料3 府中市地域公共交通計画 素案」を基に説明

【会長】

ありがとうございました。

少し後半丁寧に説明をいただきました。

どこからでも構いませんので、ご質問ご意見等があればお受けしたいと思います。いかがでしょうか。

【委員】

2点ございます。まず p. 51 の「公共交通の問題点と課題の整理」で府中駅～上下駅の運行時刻というのがあるのですが、鉄道と路線バスがお互いに時間を割り振ることによって利用できる時間帯を増やすという意味では、路線バスがダイヤを考える必要があるかと思います。来年の4月から「自動車運転者の労働時間等の改善のための基準」が改正され、労働がかなり制限されます。朝や夕方に便が重複していると利用しにくいので、そういったところはお互いに補完できるようなダイヤ改善を検討して必要があると思います。

もう1つは p. 60、基本方針3・目標4の評価指標として「公共交通に対する公的資金投入額」とありますが、これは今後地域間幹線系統の維持のために補助がいただけるという認識でよろしいでしょうか。福山市と府中市を経由する福山市線は国や県の補助をいただきながら運行していますが、結果として赤字の状況です。コロナ禍に入る前は高速乗合バス事業や貸切事業がこのあたりを補完していたのですが、現状としてはコロナ禍を経て稼げる事業が必要です。そういった中で長い路線を維持していくために投資等あらゆるものを考えて、赤字にならないことが必要になってくると思います。これは今後維持していただけるという意味の記載なのか、お聞かせいただければと思います。

【事務局】

少し説明を省略した部分がありました。p. 35 のところに各路線それぞれの運行回数、利用者数、経常収支率などを掲載しています。右から2番目の利用者1人あたりの市補助額については、注意書きにもありますが、国や県からの補助金を除いた市が負担する金額を利用者数で割った金額になっています。委員からご指摘のあった幹線の補助について、この場ですぐの返答は難しいですが、市の財政から見ても厳しい部分がありますので、利用者数を増やして1人あたりの市補助額の改善を図っていかねばなりません。目標値は具体的な数字にはなっていませんが、そのあたりを踏まえて検討していきたいと思っています。

【委員】

p. 69 の事業3のところに事業者協力型自家用有償運送とありますが、具体的にこういったものでしょうか。

【バイタルリード】

冒頭の第1号議案のところで自家用有償旅客運送制度について説明がありましたが、例えば乗合タクシーの形であれば配車の受付や運行管理を既存のタクシー事業者にさせていただいて実際の運転だけは地域の方が担うというようなことができます。そういったものを想定しています。

【委員】

よくわかりません。

【事務局】

タクシーの運転手が不足しているという問題がありまして、協和元気センターのように自家用有償旅客運送を実施するにあたり、ドライバーは地域住民、運行管理はタクシー会社をお願いをするとい

うことです。具体的に「この地域で実施したい」という考えがあるわけではないですが、人材不足等もあるので柔軟に対応していかなければと話しているところです。

【委員】

中国新聞にライドシェアに関する記事がありましたが、本当は基本的に府中市にはライドシェアに取り組まないようにしてもらいたいです。我々の第一目標は交通の便が悪くならないように人員を確保することで、それがモチベーションになっています。新聞記事の内容はあまりにも偏り過ぎていて、事業者としてはとても受け入れがたいものでした。それについての確認をしたいというところが本当の質問の目的です。

【委員】

私も様々な地域で地域交通会議に出席させていただいておりますが、ここまで具体的に施策にまで踏み込んだような計画は少ないので、鉄道もしっかり公共交通の一員として組み込んでいただけて感謝いたします。

共有として付け加えさせていただきます。計画の p. 30 に鉄道の駅別 1 日あたりの乗車人数を掲載していただいております。府中駅の乗車人数は令和 3 年度がコロナの影響を受けて 770 人 ですが、令和 4 年度については府中駅では 822 人まで増加しており、コロナ禍前の平成 31 年度と比較して 89%、約 9 割まで戻って来ております。先日他自治体の地域公共交通会議に出席しましたが、利用の戻りはまだギリギリ 8 割といったところです。他自治体は通勤定期が収入のメインなのでそこが悪いという点もありますが、府中市は会社全体として見ても非常によく戻っているところです。一方で、ここから先コロナ禍前まで戻すということはとても大変で、鍵になると思います。そういった観点から言わせていただければ、既存の輸送手段を総動員するという観点は非常にありがたいですが、ここまで書き込んでいただいたことを実現するにはかなりハードルが高いと思います。そのためには運輸局さんのお力、府中市さんのリーダーシップが必要です。

他の事例で紹介すると、三次市では備北交通と弊社で協力して、広島-三次の高速バスと芸備線を片道ずつ利用することで非常に安くなる「どっちも割」というのを三次市から補助金をいただけて行っています。この利用者を分析して元々どの交通手段を利用していたかをみると、鉄道と回答した人が 3 割、バスが 3 割、自家用車が 4 割という結果でした。

鉄道事業者側から見れば、バスと自家用車から 7 割利用者が獲得できているということですし、バス事業者側から見ても自家用車や鉄道から 7 割ということで、全員 Win-Win という非常に良い結果になっております。そういった事例があったうえで「共通定期」を書いていただいているので、実現できたら非常にありがたいと思います。

そういう意味でも、自家用車を使っている人をどう取り込むかという観点がとても大切であると思っています。現在鉄道やバスを利用している人に継続的にご利用していただくということも非常に大切ですが、それでは現状維持でしかないので、自家用車利用者をターゲットにして公共交通を使いたいと思わせるサービスを考えていかないとなりません。そういったことを思っていたのですが、p. 64 で同様な点をしっかり検証されていて、とても深掘された地域公共交通計画だと思いました。

ここでは仮説ですが、公共交通をいかにして利用していただくかを本当に具体的に検討していく必要があります。せっかくアンケートを取ったので事業者、自治体等一緒に連携しながら分析し、運輸

局さんのお力もお借りしながら進めていきたいと思います。今後とも連携をよろしくお願いいたします。

【会長】

私もそうだと思います。

資料3 府中市地域公共交通計画 素案のp.43①利用頻度のところで2,084人が回答していますが、鉄道が63.5%、路線バスに至っては78.7%の人が利用していない実態があります。その一方で次のページでサービスの満足度を聞いていますが、利用していない人に聞いてどんな意味があるのだろうかと思いましたが正直思いました。そういう意味では満足度も利用している人としていない人を分けしてみた方がよりフィットした数字が出てくるのではと思いましたが、そういった中であってさきほど委員からご指摘があったp.64の検証はすごく面白くて、「府中駅や上下駅の近くで一日中駐車できる駐車場が整備され、鉄道利用者は割引料金で利用できるようになる」の項目に利用者も非利用者も高い割合で利用意向を示しています。ですから、いきなりは難しいかもしれませんが実証実験にチャレンジするなど、皆様にご協力をいただきつつやってみると一つの突破口が見えてくるかもしれません。p.65、66で他の利用意向についても聞いていますが、やはりパークアンドライドは格段に高いです。鉄道の定時制に対しては非常に多くの人が満足しているようですし、パークアンドライドがうまくできるのであれば変化に期待もできそうです。今回の計画の目玉を何にするかと言う点でも、具体的などころを検討いただくと良いかなと思った次第です。

確認です。p.39第4章に今回のアンケート調査の概要がありますが、基本的にはまだ集計中という理解でよろしいでしょうか。私は高校生アンケートの結果に興味があります。特に上下高校については状況が厳しく、どうすれば公共交通として上下高校を支えていけるのか考えなければいけないと思っています。このあたりはこれから出てくるのでしょうか。

【バイタルリード】

一通りの基礎集計は終わっている状態ですが、具体的施策の検討に合わせてさらにクロス集計を行い、深堀をしていくことはもちろん考えておりますし、実施する予定にしております。

【会長】

全て集計するととんでもないことになるので、少し論点を絞ってやると思います。

論点はずばりどうすれば皆さんが公共交通を使ってくれるのかというところだと思うので、ヘビーユーザーである高校生について詳しく知りたいです。また事業所でも「これからは公共交通で行く」というところがあればガラリと変わるだろうとか、そういったところに注目しながら分析していただけると良いと思います。

他には何かございますか。

【委員】

p.70の「事業6 公共交通のバリアフリー化」はハード面のバリアフリー化についての事業だと思いますが、先ほどから路線が競合しているところの割引サービス等の話があります。タクシーを使うケース、バスを使うケース、お天気がいい時は歩いてみるなど、それぞれのニーズがあります。行き

はバスを使って帰りはタクシーを使う、またその逆など、そういうバリアフリーの観点もあると思います。例えば行きはバスで行くけれども、買い物をすると荷物が増えるので帰りはタクシーがいいと言う人も当然います。そうすると、バスで行けば帰りのタクシーが割引になるなど、何かそういう市内でのハード面以外のバリアフリーも一つ視野に入れていただきたいと思います。そうすれば年配の人により使いやすい公共交通となっていくのではないかなと感じました。これから免許返納者や高齢者が増えていく中で、今運転している人が実際免許証を返納して公共交通に乗るかという、なかなかそこまで至らないのではないかとこの予測をしています。利用を促進して公共交通を活性化するという意味でも、ハード面だけではなくてサービス面のバリアフリーなども必要ではないかと感じます。そのあたりを事業の中に含められるのであれば良いと感じました。

【会長】

自家用車と公共交通を比べると、圧倒的に自家用車の方が便利だというのは間違いないところです。

そんな中にあっても、公共交通の良いところ、例えば「朝は急いでいるからタクシーで行くけれど帰りはゆっくりでいいのでバスにしたい」といった柔軟な使い方ができるなど、新しいライフスタイルのようなものも提案できてきたらよいという気も少し個人的にはしています。そういったところも先々、いろいろ議論できればと思います。ありがとうございます。

他にはいかがでしょうか。

今日は初見の部分もあって、なかなかご意見いただけなかったというところがあるかと思うのですが、まだ素案の段階ということですので、またじっくり見ていただいてお気づきの点等があれば事務局の方に遠慮なく言っていただければと思います。

【事務局】

本日示した素案の方はあくまで「計画にするとこういう形」になるというものです。

この5年の計画の中では、特に優先的に取り組むべき課題もあります。その辺も考慮しながら、ブラッシュアップしてより良いものを作っていこうと思います。

また後日窓口や電話などでご意見をいただければ、それも踏まえたうえでのアンケートの集計や分析等もできますので、いろいろご指摘いただければと思います。よろしくお願いします。

【会長】

皆さんの方から全体を通じて何かご意見ありますでしょうか。

【委員】

この度は府中ぐるっとバスにEVバスを入れていただきましてありがとうございます。楽しみにしている反面、さきほど4,000万円と聞き、乗るのが少し怖いという気持ちです。

府中ぐるっバスの右回りの車両は2007年式で、もう16,7年使用しています。ミッション系やクラッチなどがかなり傷んでおり、厳しい状態です。運転手からすれば、このEV車両が初めての導入で使用してみないとわからない状況です。整備もEV車両は経験がないのでこれから整備方法を覚える状況となります。せっかく導入したのに修理が出来ずいつも止まっている状態では意味がありません。

ん。そのあたりお伺いしたいです。

それから府中ぐるっとバスの左回りについてです。見晴団地のコミュニティ会館から見晴会館まではバス停がありませんが、利用者から途中で停車してほしいという要望がかなりあります。見晴団地の上の段の奥の方にも家がかかなりあって、旧東小学校側から利用するお客さんもいらっしゃいます。一番上のところに少し広いところがあるのでそこへバス停を一つ増やしてもらえば、中の段の方も含め、もっと府中ぐるっとバス左回りを利用してもらえるのではないかと考えています。

それから現在廃止代替路線で7mのバスを使っているのですが、9交番ある中で7mのバス車両が9台しかなく、一番古いバスは2005年式で20年くらい経ちます。その次が2006年、2007年、一番新しいのが2015年式となり、故障も増えて来ております。資料にもありましたが、1運行あたりの利用者数が2桁になることはほとんどないので、7mの大きなバスでなくても、府中ぐるっとバス左回りと同じハイエースクラスの車両でもカバーできると思います。今まで府中ぐるっとバス左回りで積み残しが発生したのは1、2回で、町内会で食事に行くなど一気に乗った場合だけです。府中ぐるっとバス左回りの車両が故障した場合の代替車両が1台もないということもあるので、今後は小さめの車両の導入も検討していただけないかと思っております。

【事務局】

見晴団地の件に関しては常々町内会等からも要望があがっていますが、停車の安全面に関する警察との協議等があり、なかなか実現していません。そのあたりは引き続き検討していきます。

バス車両の大きさについては、計画の中で見直し基準を設けているところがございます。これに関しても路線を廃止するだけでなく車両の大きさや運行ルートも含めて検討してきますし、それ以降も継続的にできるようなモニタリング方法を考えていきたいと思っています。EVバスについては後ほど報告させていただきます。

【会長】

他に何かありますでしょうか。

(御意見なし)

それでは本日の議事については以上で終了いたします。

進行を事務局にお返します。

【事務局】

渡邊会長ありがとうございました。

委員の皆様には長時間にわたりご協議いただき、誠にありがとうございました。今後のスケジュールは本日いただいたご意見を基に、先ほど説明しましたように素案の修正等を行いまして、概ね2月頃にはパブリックコメントを実施するように考えております。その間分科会などの開催も予定させていただきたいと思っています。そこでご意見をいただきながら次回の協議会につきましては書面での協議も含めて検討させていただきますので、よろしくお願いいたします。

それでは次第の「3. 報告事項」に移らせていただきます。

【事務局】

○参考資料3 「ぐるっとバス（右回り）へのEVバスの導入について」による報告

【委員】

補足します。1回の充電で210km走行するのですが、回生ブレーキを使用しておりますので、ブレーキが踏まれる度に充電できます。そういったこともあり府中ぐるっとバスは十分カバーできますし、BCP対策として地震などが起きた時に電力を使えるシステムもあります。そういった災害対策も可能です。また、路線が短いので使用するかはわかりませんが、USBなどの最新の機能もついております。

修理等については、昨年県内のバス事業者が導入されたのですが、そちらでは1年間でドアの不具合があった程度でエンジン関係は一切壊れなかったそうです。電気車両ですので単純な構造になっており、自社工場に車両メーカーが修理方法の説明に来ますし、部品等は基本的には長くかかっても48時間以内にいただけると聞いております。そこまで影響はないかと思っています。

最初に導入した県外のバス会社は7年くらい使用していますが、電池はまだ一度も交換せず70%以上の充電力を残しているということです。今年度、広島県でも様々な地域で導入されると聞いています。

【会長】

今のお話の中に非常に重要なキーワードがありました。「非常時にも使える」というのは防災計画などにも影響する話だと思いますので、これを機にぜひとも、府中市の避難所にはすぐにEVバスが来てそこで充電できるなど、そういうことも含めてご検討いただくといいと思います。よろしくお願いいたします。

【事務局】

今回のEVバスの導入にあたって災害対応ということも可能性としてはあるので、危機管理室とも情報を共有しながら協議しております。引き続き対応を検討させていただきます。

その他全体を通して何かございますか。

（委員からの御意見なし）

【事務局】

以上を持ちまして、令和5年度第4回府中市地域公共交通活性化協議会を閉会いたします。

本日は誠にありがとうございました。

以上